

2020年2月6日

各 位

株式会社新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 「TCFD」(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同表明について

当行は、「TCFD」(気候関連財務情報開示タスクフォース)<sup>※</sup>の提言に賛同を表明しました。今後は、TCFD の提言をふまえ、気候変動が新生銀行グループの事業に及ぼすリスクと機会についての情報開示を進め、開示内容を充実化していきます。

新生銀行グループは、グループ ESG 経営ポリシーを経営戦略立案の出発点となる基本方針に位置付け、持続可能な社会の構築への貢献によって企業としての社会的責任を果たし、持続的な成長機会を獲得していくことを掲げています。

持続可能な社会の実現のためには、気候変動を含む地球環境問題への対応は不可欠であり、ESG 経営を推進するうえで重要な課題であると認識しています。気候変動対策に資する事業への投融資など、さまざまな取り組みを通じて、社会的な価値創出と同時に、新生銀行グループの中長期的な企業価値の向上に努めていきます。

※ 「TCFD」(気候関連財務情報開示タスクフォース: Task Force on Climate-related Financial Disclosures)について

- ・ G20 の財務大臣・中央銀行総裁からの要請を受け金融安定理事会 (FSB) によって 2016 年に設置された、民間主導による気候関連財務情報の開示に関するタスクフォース。
- ・ 企業等に対し、気候変動がもたらす「リスク」及び「機会」の財務的影響を把握し開示することを推奨しています。開示項目として、「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」の 4 項目が挙げられています。

以 上

お問い合わせ先  
新生銀行 グループ IR・広報部  
下村、紀、風間  
Tel.03-6880-8303